

特命全權大使
米歐回覽宣記

昭和50年度
指定図書

其最大ナル旅館ニテ、^{ルム}室房ノ數、一千番ニ及フ、中央ニ廣庭ヲ圍ミ、綠樹蔚茂シ、
 旅客朝夕ニ盤游スルヘシ、^{イニシットム}會食堂ハ二千八ヲ容ルヘシ、又會集堂及ヒ、舞踏堂
 皆廣潤ヲキハム、會食ノ後ニ、旅客此ニ集リ、^{ヒヤン}洋琴ヲ彈シテ舞踏ヲナス所ナリ、
 屋造精美ナラサレヒ、其廣大ナルハ、前後ニ曾テミサル大館ナリ、佛國巴黎ノ
 「ガランドホテル」モ其半ニ及フノミ、只數個ノ藥泉ノ利ニヨリテ、如此キ大旅
 館ヲ設ルハ、避暑ノ地ニ、遊客ノ多キヲ、實ニ夥多シキヲ知ルヘシ、

十一日 晴

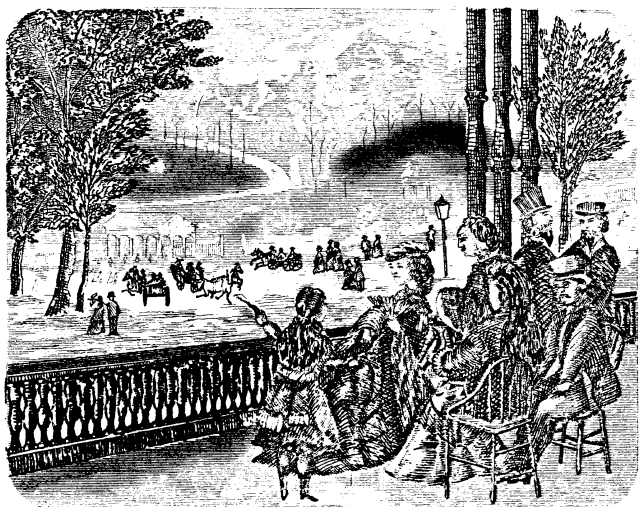
午前十一時駕シテ「サラトガ湖」ニ涼ヲ納ル、是ハ一小湖ニテ池ノ如シ、其水モ
 亦清カラス、前ニ巒巒ノ開闢ヲナスモ、峻秀ノ姿アルニモ非ス、背ニ巨木陰森
 ナルモ、草莽半ハ掃ハス、只尋常ノ山水ニスキス、山上ニ一亭アリ、此ニ休憩ス
 レハ、主人「モーレン」氏酒及ヒ、^{アブラク}番薯ノ油煎ヲ供ス、是ハ番薯ヲ薄片ニ截テ、油ニ
 テ煎蒸セルモノニテ、此地ノ名産ナリトイフ、

是ヨリ車ヲ回シ、藥泉ニ至ル、此地ニ數種ノ藥泉アリ、各其質ヲ異ニス、此ニ出
 ル泉ハ、曹達水ニ似タリ、誠ニシテ滋ノ微臭アリ、市中ニハ「マングレス」水ヲ出

「サラトガ」大逆旅苑



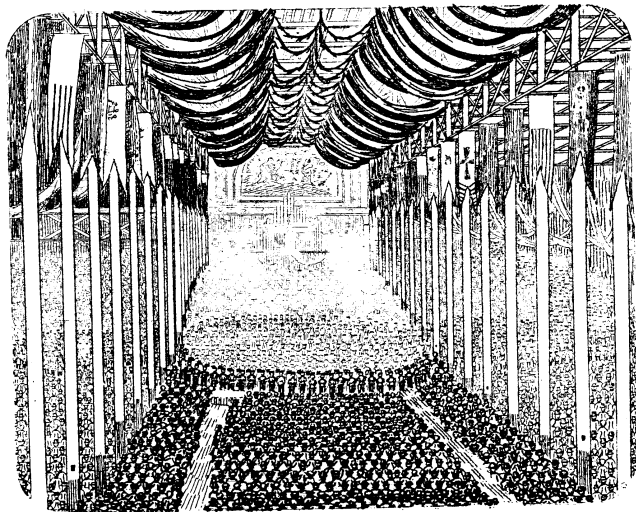
同所ヨリ市中公苑ノ眺望



波士敦ノビーコン街



波士敦ノ太平樂會



シ、又鎮水ヲモ出スト云、礦泉ノ人身ニ藥驗アルハ、猶溫泉ノ病ヲ療スルカ如シ「サラトガ」ノ米國ノ遊覽場トナリシハ、此奇效ニヨルナリ、我誠訪ノ湖水ニ溫泉ヲ兼テ、奇峯ノ環繞セルカ如キ、之ヲ米國ニオカハ、鬧熱場ヲナス至ニ、

十二日 晴

朝九時「サラトガ」邑ノ旅館ヲ發シ、波士敦府ニ赴ク、新約克州ノ地ハ、東北ノ境ニ至リ、山脈涌起シ、漸ニ峻嶺疊嶂アリ、「マッサセッチュ」及ヒ「ヴェルモント」州ノ界ニ進行スレハ、地益險ニ、山益峻ナリ、鑛路ハ巖峽ヲ分ツテ、氣色壯ナリ、此ハ所謂「アルゲニー」ノ山脈カ、「マイン」ノ「ヴェルモント」諸州ヨリ來リ、鬱蟠スル所ニテ、樹木饒カニ、礦石ヲ藏ス、岡原茫茫ノ米國、此ニ至テ觀ヲ改ム、○此日スキル所ハ、松樹森蔚トシテ、一帶ノ清河、其間ヲ流ル、水ハ清映ニシテ、沙礫ヲ洗ヒ送リ、其聲淙淙タリ、我日本山水ノ氣象アリ、此河ヲ「カナデカット」ト名ツク、此ヲ流レ「マッサセッチュ」州ヲ貫キ、「カナデカット」州ノ境ヲ歷テ、海ニ入ル、此邊ノ一大河ナリ、カ、ル險路ナレハ、往往岩ヲ毀ツテ、鑛路ヲ架シタル所ヲスク、
○十一時ニ「エルハーヴェル」村ヲスク、蓋シ此ハ「ヴェルモント」州境ナリ、水力ニテ大理石ヲ切出ス

製造場アリ「マッサセッチェ」ノ白大理石ハ、米國ニテ名高キ石材ナリ、蓋此邊ヨリ出ルモノナリ、又屋瓦ニ用フル石材ヲ堆積スルヲミル、此石ハ層累薄ク、其紋理ヲ案シテ薄片トナスヘシ、其片ヲ截テ瓦ニカエ屋ヲ葺クモノナリ、其石質ハ堅剛ニテ、風水ニ壞レ難ク、其面ハ潤澤ヲ帶フ、其色ハ赭アリ、黒アリ、青アリ、之ヲ四角、或六稜角ニ截テ、屋宇ヲ葺ク、或ハ鱗次ニシ、或ハ龜甲形ニシ、或ハ蹙紋ニス、其式種種アリ、數種ノ色ヲ錯ヘテ文ヲナス、米歐諸國ノ屋造ニ、中等屋ヨリ以上ハ、大抵此石ヲ以テ瓦ニカエ、瓦材ノ上品ナリ

西洋ノ家屋ハ、上宇ヲ葺クニ、其法種種ナリ、或ハ劈力彎弧ノ術ニ因テ、石材磚瓦ヲ疊ミ、渾沌牢固セルアリ、或ハ鉛板ヲ以テ、至平ニ敷釘シ、屋上ニ方池ヲナシ、雨水ヲ四隅ヨリ漏下セシメルアリ、或ハ板ヲ密釘シ、上ニ白鉛漆粉ヲ塗リ、觀臺ノ如クセルアリ、或瓦材石ヲ釘シテ、本文ニ述ルカ如クセルアリ、又瓦モ葺ク、凡都邑ノ大屋ニ葺タル瓦ハ、青色多シ、陋巷村家ニハ、多ク赭色瓦ヲ用フ、西洋ノ瓦ハ、其質ノ堅牢ナル、磚瓦ト同シ、其形式ハ種種一ナラス、我邦ニテ所謂本瓦葺トテ、丸形平形ヲ遞ニ葺カ如キ法ナシ、是ハ支邦朝

鮮ノ法ナリト知ラレタリ、瓦ヲ燒クニ濕氣ヲ送レハ、青色ヲナス、我邦ノ瓦工ミナ其術ヲシル、西洋ノ村邑ニテ、赭色瓦ヲ用ヒタルハ、外觀甚々惡シ、豈濕氣ヲ送ル術ヲシル者寡キカ、抑習慣ノ之ニ安スルカ、瓦葺ハ西洋ニテ甚々貴重セス、又瓦石ヲ葺キシモノハ、外觀美ナレトモ、火災ニ不利ナリト云、後南獨逸ヲスキルニ、山ニ脆質ノ白石アリ、層層ニ横理ヲナス、村民之ヲ截テ屋ニ葺キタルアリ、碎ケ易ク、又水ニ壞レ、甚々見苦シカリシ、横理ノ石ハ、頗ル多キモノナレトモ、其質堅牢潤澤アリテ、風水ニ壞レサルヲ擇ミ、始メテ用ニ合スヘシ、若夫習字習算ニ用フル石版ノ材ハ、又瓦材ト異ナリ、礦業興レハ、建築ノ石材モ亦利用ノ廣キモノナリ、

是ヨリ後モ、猶河水ニ傍フ、山中ナレハ寂寞ノ境多ク、山民往往牛車ヲ用ルヲミル、又石炭ニ乏シキニヤ、燃料ハ薪ヲ用フ、○午後六時四十分「ウオールセーム」邑ヲスク、此處ニハ時辰儀ノ製作場アリテ高名ナリ、波士敦ノ響應掛リ、此ニテ出迎フ、波士敦マテ二十六英里、八時ニ「ポストン」府ニ達シ、「フィッポル」ノ驛ヨリ、馬車ニ上リ、「レウエーレハウス」ニ宿ヲナス、

波士敦府ノ總説ハ、後卷ニ譲リ此ニ略ス、

十三日 晴

十時ヨリ駕シテ、府中ヲ回覽シ、河北ナル遊苑ニ至ル、苑ノ地域ハ甚々廣ク、天然ノ阜アリ、樹木葱鬱、洒掃頗ル至レト、一味ノ山林ニテ、泉石ノ巧ヲ用ヒタルニ非ス、車馬奔馳シテ、清氣ヲ呼吸シ、燥塵ヲ洗フヘシ、府中ニ設ケタル公苑ヲ、「コンモン、パーク」トイフ、其廣サ我十町歩モアルヘシ、沼池ヲ鑿リ、石橋ヲ綴リ、淨路委曲シ、樹木鬱葱タリ、跳水ヲ設ケ、水常ニ傘形ヲナシテ、冷冷ノ珠ヲ迸ラス、銅像石像ヲオキ、花卉爛熳ノ徑アリ、路ニハ淨沙ヲ撒シ、皎トシテ雪ノ如シ、○「コンモン苑」ノ前ハ岡阜ニ向ヒ、下ニ一條ノ大街アリ、「ペーコン街」トイフ、半面ハ鐵欄ヲ隔テ苑ニ境ヒ、半面ハ岡ヲ負フテ、家屋ヲ構フ、ミナ府人ノ私宅ナリ、鐵欄ニツフテ、並木ヲウエ、枝條盡ク大陰ヲナシテ、街路ヲ覆フ、清冷ノ氣、人衣ヲ襲ヒ、遙ニ十數町ニ達ル、亦快美ナル街路ナリ、

波士敦府ハ、米國ノ都府中ニ於テ、其繁昌最モ久シク、近年ニ人口ノ增加ハ、他ノ諸都府ニ比スレハ、較鈍シ、已ニ十分ノ富庶ニ達シタルモノニ似タリ、

然レ其府ノ邊隅ニ至レハ、猶新街ヲ開キ、建築方ニ般ナルヲミル、米國各地ヲ經過シ、其生意ヲ注目スレハ、富庶繁榮ノ兆ハ、自ラ心目ニ感觸ヲ與フルモノ、一ニシテ足ラス、曩ニ桑港ニ留リシキ、邊鄙ノ街ニ接シタル曠地ニ、新街ヲ開カント、經紀營繕中ナル地域甚々廣ク、舊街ニハ舊屋ヲ毀ツテ、新ニ美館ヲ起スモノ甚々多シ、此都府ハ、新造ノ街ナレハ、左モアルベシト思ヒシニ、此回新約克ヲ過キシニ、「センヤラール苑」ノ近傍數街ハ、皆新街ニテ、方ニ營造新建ノ家屋多シ、再ヒ波士敦ニ至レハ、「ペーコン街」ノ北ニハ、海角ヲ填メ、新地ヲ築キ、市地ヲ廣メル處幾ケ所モアリ、波士敦ハ海濱ニテ、沙土多シ、其地ヲ築固スルニ、一箇ノ器械ヲ運用セリ、其製ハ、輪ヲ施シタル臺ニ、鐵雙柱ヲタテ、之ニ輪軸ヲ施シ、方形ノ鐵塊ヲ鈎下スヘシ、二人ニテ之ヲ運搬シ、輪軸ヲ回シテ、其鐵ヲ鈎シ、アケ、柱ノ高處ニ至レハ、一頓シテ地ニ墮下スル仕掛ナリ、又一ノ驚クヘキハ、煉瓦壁ノ大屋ヲ、地上ヨリ擡ケ起シ、新ニ一層ヲ下脚ニ造リ添ル工ヲナスヲ目撃シタリ、米國各地ノ繁昌ハ、潮ノ進ムカ如ク、歐洲ニテ最モ繁昌ナル都府モ皆及フ能ハス、一千八百六十年日

七十年来マテ十年間ニ米國十大都府人口ノ増加ヲ表列スレハ市高俄ヲ第一トス殆ト二倍ナリ桑港之ニ次キ一倍半ニスク聖路易ハ殆ト一倍「ブルックリン」ハ半倍波士敦ハ百分ノ四十一「シンシンナッチ」ハ三十四「ボルチモール」ハ二十六「費拉特費」ハ二十「新約克」ハ十八「新オレンス」ハ十四「都府」ノ人口増加スレハ新街ヲ邊鄙ノ曠地ニ増ス富殖ヲ進ムレハ舊街ノ屋ニ莊麗ヲ致ス米歐各地皆此嘉スヘキ兆候ヲ示スハ是開化ノ實效ナリ、

○二時ヨリ太平樂會ニ赴ク是ハ州民相會シ四海ノ昇平ヲ慶セント今回興行セシ盛會ナリ○米國ハ今ヨリ十年前ニアリテ内訌起リ南北相戰フテ四歲生靈血ニ塗レ之ヲ名ケテ市民戰爭ト云然ルニ一千八百六十五年ニ戰爭始テ熄ミ再ヒ昇平ヲ樂ムニ至レリ外國ニ於テハ普佛ノ戰モ亦和協ニ歸シ今ヤ世界ヲ概視スルニ一塵動カス眞ニ四海太平ノ秋ナリトテ此會ヲ興スヲ謀リタリ州廳ニ於テ二十五萬弗ヲ出シ資本トシ州民ミナ踴躍シテ金ヲ醵シ海岸一區ノ地ヲ相シテ大觀場ヲ起ス横幅五十八間四尺其長サハ殆ト之ニ倍スミナ木材ヲ以テ造ルト雖モ哀然トシテ濶大ナリ中部ニ建タル柱

ハ只兩條アルノミ橫梁ハ木材ヲ編ミテ架成シ要處ヲ大鐵釘ニテ連結ス正面ニ壇アリ樂場トナス各州ヨリ伶人千五百人ヲ集メ謠ヲ善スルモノ男女一萬六千人ヲ集ム又歌謠絶倫ノ婦人一名ヲ聘ス此婦人ノ給料ハ一七日ニ一萬五千弗ヲ與フルト云堂中ハ五萬人ヲ容テ尙餘地アリ○午後三時樂始マリ伶人律ヲ調ス響キ行雲ヲ遏メ瀏澆タリ萬餘ノ謠人一齊ニ相和シ窈窕トシテ白雪ヲ奏ス次ニ謠婦盛粧シテ壇ニ上ル金珠爛然タリ衆ニ向ヒ揮拜ス滿堂手ヲ拍テ艶稱ス己ニシテ樂起リ歌發ス其聲ノ玲瓏タル細ナルハ切切縵ナルハ嘈嘈曲急ニ調促スレハ鶴唳ノ空ヲ渡ル如ク乍チ滑ナルハ流鶯ノ花ニ嘯スルカ如シ珠玉盤ニ逆リ金石ミナ鳴ル高唱一聲鏗爾トシテ金聲ハ餘音裊裊トシテ縵ノ如ク絶ヘントシ乍チ一轉シテ玉振ス鳳凰來儀ノ致アリ其聲音ヲ發スルヲ樂器ヲ其婦ノ喉領ニ施セルカト疑フ堂中ミナ手ヲ拍足ヲ踏テ贊嘆シテ休マス西洋ノ歌謠ハ人聲ヲ以テ樂音ニカユ歌謠ノ節奏樂器ノ鳴ルニ和シテ其音ヲ同クス此其妙ナリ人ノ常音ヲ發スルヲアルハ拙詠ナリト云○次ニ鳴盛砲ノ樂ヲ調セリ是ハ大砲ヲ樂器ニ錯ヘ盛ヲ鳴

ス所ニシテ、此回ノ創思ニカ、ル、樂工一隊、壇ヲ挾ミ鼓樂スルモノ數百人、音頭ハ壇上ニアリテ、其節奏ヲ令ス、大砲ハ設ケテ堂外ニアリ、電線ヲ施シ、其頭ヲ琴絃ノ間ニ繫キ、其尾ハ砲ノ火門ニ挿ム、近處ニ蓄電ノ器械アリテ、其線ニ通ス、樂器ヲ主ルモノ、其節奏ノ至ルトキ、電線ヲ掣スレハ、砲乍チ轟發シ、其音ヲ以テ大鼓ニ代用ス、二聲三聲、曲ヲ按シテ發シ、烟ヲ見スシテ、只其響ヲ聞ク、眞ニ盛ヲ鳴スノ砲ナリ、又電機ヲ以テ各寺ニ節奏ヲ報知スル仕掛ヲナシ、同時ニ寺寺ヨリ鐘ヲ撞キテ、樂聲ヲ助ク、此樂殊ニ人聽ヲ驚カス、大仕掛ナリキ、○此日ハ、英國親衛兵ノ樂隊、緋衣熊冠シ樂會ヲ助ク、曲ヲ調スル一閃、英樂ノ美ヲ極ム、衆贊嘆己マス、更ニ一回ヲ望ム、米人獨立ノ戰ニ虜ハレ、愛國心ヲ堅クシ、屈撓セサル、一曲ヲ調セリ、米人之ヲ聞テ、感嘆已ム能ハス、手ヲ拍チ足ヲ踏ミ、シバシ鳴リモ靜ラス、更ニ又一曲ヲ望メリ、嗚呼、五洲ノ内、大小國ヲ分チ、各其俗ニ安ンシ、自主ヲ遂レハ、皆我生國ヲ愛スルノ心ハ、勃勃トシテ己ム能ハサルコト、猶其身ヲ愛シ、其家ヲ愛スルニ同シ、亞弗利加ノ民ハ、炎熯ノ域ニスミ、以謂ク是世界ノ樂地ナリト、露西亞ノ北境ニ住スルモノハ、轎車ニ乘テ氷

上ヲ輾リ、露京ニ來リ、氷ノ方ニ解ントスルトキハ、又車ヲ回シテ歸ル、此土ニ育スルモノハ、其土ヲ愛ス、稻草木ノ根ヲ託スルト一般ナリ、故ニ愛國ノ心ハ、人情ノ自然ニ發シ、忠厚ノ根元トナルモノナリ、歐米ノ民開化ヲ論スルハ、愛國ノ心ヨリ始ル、若シ其身ヲ忘レ、其家ヲ弄テ、其故里ヲ顧ミス、其國ヲ厭フモノ、如キハ、我名教ノ罪人ノミナラス、抑モ西洋開化ノ取ラサル所ナリ、歐米ノ民ヲ育スルヤ、先ノスルニ國史ヲ教フ、愛國心ヲ導ク所ナリ、

十四日 晴

府中接待掛ヨリノ案内ニテ、「ロング、ウワルフ」ノ岸ヨリ、「ハオニンク」號ノ蒸氣船ニテ、波士敦^{ホストン}ノ港ニ出遊ス、九時ヨリ船ニ上ル、收稅官「リュツセル」氏ヲハシメ、享應ノ人、ミナ家屬ヲ携ヘ、男女五六十人上船ス、海上ヨリ府中ノ形勢ヲ遠覽シテ、烟火ノ盛ナルヲ望ミ、港口ノ砲臺ニ及フトキ、十五發ノ祝砲アリ、遂ニ燈明臺ノ前マテ至リ、眺望スル少時、波士敦^{ホストン}ノ港ハ、昔時米國ノ英國ヲ絶テ獨立スル片、首ニ戰爭ヲナセシ所ニテ、「チャーレス、タウン」ヲ首トシ、苦戰ノ舊跡多シ、米國ノ史ヲミタルモノハ、古ヲ懷ヒ今ヲ考ヘ、感想亦少カラサルナリ、

船中ニテ美酒水菓ヲ供シ、十二時ニ歸岸ス、

○二時ヨリ再ヒ太平樂會ニ赴ク、今日ハ日耳曼^{セルマン}ノ樂隊來リテ樂ヲ助ク、大略前日ニ同シ、西洋ノ樂ハ我邦人ニテ聞ケハ、千曲一調ニテ、各國同譜ニ似タレト、實ハ各國樂ヲ異ニシタルヲ國民ノ異ナルト同シ、樂律ニ深キモノハ品評ヲナスヲ得ル、季孔十五ヶ國風ヲ判セルモ、誣言ニアラサルナリ、

○樂畢リテ後ニ會堂ノ前ナル海岸ニアル空船ニ上リ、地ヲ離レ升騰スルヲ三千餘尺ニ及ンテ下ル、

空船ノ發明ハ、モト氣泡ノ水底ヨリ升ルヲミテ思起シ、以來漸ク工夫ヲ積ミテ、世ニ頗ル便利ヲアタヘタレト、未タ實效ヲミルヲハ少ク、空中ニアリテハ、乘人ノ心ニ任セ、自在ノ運轉ヲナシ難キユエ、各國ノ術家、此ニ沈思スルモノ少カラス、益便利ヲス、メ、既ニ先年普佛ノ戰ニ、佛人空船ニ乘リ、重圍ヲコヘテ、約束ヲ報シ、敵陣ヲ窺ヒタルナドハ、此器械ノ大用アルノ實ヲ、世ニ著明ニシタリ、其後モ猶種種ニ工夫ヲナセト、運轉自在ニシテ、遠洋廣陸ヲ渡ルニ至ラス、即今ニテハ、^{ニューヨーク}新約克府ノ會社ニテ、正ニ打點セル空船、尤

モ進歩ノ功ヲ顯ハセリト云、○其製造大略ノ趣意ヲ問フニ曰、從來空船ハ輕氣ヲ盈テ、空中ノ薄キ蒙氣ニ平均セシメテ、上騰スル工夫ニテ、其目的ハ上騰スルニアリ、運行自在ニハアラス、運行ヲ自在ニスルハ、別ニ其法ヲ施サ、ルヘカラス、試ニ造化ノ巧ヲミルニ、鳶飛魚躍ノ狀實ニ空船ノ粉本^{テボク}ナリ、鳶魚ノ體タル、只輕キヲ以テ翔游ヲナスニ非ス、體質ノ輕重量ハ、只氣水ト平均スレハ足ルナリ、其重心ヲ定メルハ、反テ其質ヲ重クセサル可カラサル理アリ、故ニ魚ノ水中ニアルヤ、其體質ノ水ヨリ輕キニヨラス、空胞ノ縮張ト、鬚鬚ノ轉旋トニヨリテ浮沈ス、鳥ノ空ヲ翔ルヤ、首ノ輕銳ニシテ尾ノ重大ナル、翅翼ノ鼓搏ニヨル、故ニ魚ニ浮沈ノ理ヲトリ、鳥ニ飄颻スル理ヲ象リ、以テ考量ヲ起シ、參スルニ、船舶ノ製ヲ以テシ、一ノ長圓形ナル船ヲ製セント圖レリ、其長サ百十尺^{フット}、横ノ廣キ所百尺、小球ヲ其下三十六尺ノ處ニ鈎下シ、外ニ小艇ヲ造リテ之ニ繫キ、之ニ泥沙七千五百磅ヲ載セ、猶外ニ人及荷物食料ヲ重サ九千五百磅マテヲ載ヘカラシメ、之ヲ空中ニ放チ、上騰高キニスレハ、氣球ヲ縮メ、低キニ過レハ、之ヲ張リ、適當ニ度ヲ定ムル

ニハ小艇ノ泥沙ヲ掀テ、輕重ノ差ヲ平衡ニスレハ、其船ハ思フ高サノ處ニアルヲ得ヘシ、其運行ノ操縦ハ、蓋シ空船ハ空氣ト同重ナルニヨリテ、其氣中ニアルハ、猶船ノ水ニ浮カ如シ、空氣ノ流レ順ナレハ之ニ從ヒ、逆ナレハ帆ヲ張テ抗スレハ、或歪斜シ或ハ曲折シ、運行自在ニテ、若シ球裂ケ氣漏レハ、小艇ニ上リテ生命ヲ保存ス、殆ト難破船ト同シ、

十五日 晴温八十七度ニ上

九時ヨリ、波士敦府ヲ發ス、接待掛ノ人人ハ、送リテ「ケルハテ」ノ驛所ニ至ル、是ヨリ車行シ、十二時ニ「スプリングヒル邑」ニ達ス、路程九十六英里、

○「スプリングヒル」ハ、春原ト譯ス「マッサセツチ」州西境ノ一都邑ニテ「カナデカット州」ノ上流ヲ占ム、人口二萬六千七百〇三人アリ、知事「アンネル」氏其他ノ官吏、迎ヘテ驛傍ノ旅館「マサヅイトハウス」ニ延キ、姑ク此ニ款接休憩シ、馬車ニテ小銃製造場ニ至ル、此ハ大政府ヨリ設ケテ、合衆全國ノ兵卒銃ヲ製造スル所ナリ「カナデカット」河流ヲ引テ、水輪ニテ器械ヲ轉ス、場内ニ池溝ヲ鑿リテ、盛ノニ水ヲタクハフ、池上ニ的射ヲ試ム、梁ヲ設ケ、池岸ニ小銃ノ身金ヲ試驗スル屋

ヲ設ク、此屋ハ磚瓦ヲ以テ、嚴重ニ小室ヲ造リ、前ハ岡ニ向ヒ射塚トス、此内ニ銃身へ彈藥ヲ二重込ニシテ、三四十挺ヲ並ヘ、電線ヲ施シ、室内ヨリ其線頭ヲ掣シ、一齊ニ射發シ、而テ後室ニ入テ查驗ス、我輩ノヲメニ一回試驗ヲナシテ示セシニ、一ノ毀破セルモノナカリキ、

○夫ヨリ小銃器械製造場ニ至ル、場ノ區域廣大ナリ、四層ノ長廊ヲ回シ、工作ヲナス、小銃ニ附属スル金物ヲヨシラヘ、臺木ヲ斲リ、銃ヲ粧フ等ノ工ヲナス、職人ハ分課アリテ、各一箇ヲ專業ニ作り、轆轤器械ノ運轉ハ、ミナ水力ノ輪ニヨル、水車ノ軸輪ハ、二百五十馬力、臥輪ノ仕掛ケナリ、當時ハ職人ヲイル、三百人、日ニ約百挺ヲ製ス、戰時ニハ増テ三千人ニ及ヒ、日ニ一千挺ヲ製成スヘシ、銃ノ名ヲ「スプリングヒルト」ト云、後裝式ノ銃ナリ、又「レミントン」銃ヲモ用フ、是ハ新約克府ノ會社ニテ造レ、其利便ナルヲ以テ、此場ニテモ製シテ、軍用ニ供スト云、○是ヨリ場中ノ武庫ニ至ル、蓄銃ノ數九萬挺、叢然トシテ林ノ如シ、是ハ其一部分ニテ、全國蓄備ノ軍用銃ハ、百二十萬挺アリト云、

歸路ニ、當地ノ豪家、今六區ノ長ヲ勸メタル「ボアワール」氏ノ家ニ立寄ル、主人

水菓ヲ供ス、其園ハ「カナデカット河ヲ俯瞰シテ、眺望景ヨロシ、夫ヨリ」ホテル」ニ歸リ、饗宴アリ、蓋シ大政府ヨリ食畢リ「スピーチ」ナトアリテ、第七時ヨリ蒸氣車ニ上リ、夜十二時ニ新約克府ニ著ス、路程百三十五英里

波士敦ヨリ新約克マテ鐵路二百三十一英里

十六日 晴

無事ナリ、「センタラーパーク」ヲ回覽ス、夕九時二十分ヨリ蒸氣車ニ上リ、十七日ノ拂曉ニ華盛頓ニ歸ル、

第十七卷 華盛頓府後記

五月十七日 晴

再ヒ華盛頓府ヘ歸駐ノ後ハ、盛夏ニ際シ、暑熱漸クニ増シ、國會ハ既ニ閉チ、國會ノ閉タルハ北部回在街ノ官吏ハ皆暇シ、學士有姓モ涼ヲ追テ、ミナ各地方ニ覽ノ以前ニアリ、在街ノ官吏ハ皆暇シ、學士有姓モ涼ヲ追テ、ミナ各地方ニ散遊シタルハ、商工ノ生理モ、自ラ半休ニ屬シ、華盛頓府ノ商業ハ官吏市街蕭索トシテ、公園ニ彷徨スルモノ、多クハ賤民黑人ノミ、其景況タル、北部巡覽ノ以前ト、殆ト別境ノ如シ、國務尙書「フィシュ氏」モ、波士敦ニ遊行シ、尋テ「ウエストボイント」ノ別墅ニ避暑シタルハ、公務モ亦閑ナリ、只日日ニ炎熱ヲ避ケ、各所ヲ散驅セルノミ、記スヘキ事少シ、

泰西各國ノ緯度ハ、本邦ニ比スレハ、高度ニオルユヘ、寒強ク暑弱カルベキ理ナレトモ、寒暑ハ緯度ノミニ拘ハラス、地ノ位置ニヨルヲニテ、南方ニ沙漠ヲ受ケタル洲地ハ、洋海ヲウケタル地ニ比スレハ、空氣ノ流動ニ付テ、冷熱ノ差ヲ生スル著シ、歐洲ハ、亞弗利加ト亞刺伯トノ地方ヨリ、熱氣ヲ送リ、山

太政官少書記官久米邦武編修

明治十二年十月刊行

東京銀座四丁目

御用刊行所

博聞社

明治11年10月1日 発行
昭和50年6月1日 復刻

定価 5,000円

特命全
権大使 米欧回覧実記 第1巻

著 者 久 米 邦 武
発 行 者 宗 高 松 太 郎
印 刷 所 株 式 会 社 平 河 工 業 社

発 行 所 宗 高 書 房

東京都渋谷区笹塚1-34-18 電話(466)5676 振替東京196301